

SENBOKU New Design(案)についてのご意見の要旨

○ I 章 SENBOKU New Design の位置づけ	
1. 策定の目的	
1	一段落目の泉北ニュータウンの成り立ちにおいて、教育機関が集積し、学園都市としての若い人達も通っていることを記述して欲しい。
2	二段落目の現状認識に、堺市民以外のほとんどの人は、泉北ニュータウンの良さを知らずに、高齢化したオールドタウンとしてしか認識していない人が多い、ということを書いて欲しい。
3	四段落目の後段に、教育環境が良いことも記述して欲しい。
4	最終段落に、ネーミングだけでなく、新たな価値を創造することの具体的なイメージ（例：関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会」の実装フィールドとしての地域医療福祉拠点化、既存の教育機関に加え、近畿大学医学部や大阪健康福祉短期大学の立地を活かした緑住学園都市を目指すこと等）を付け加えてはどうか。
2. 策定の考え方	
5	②前指針の継承・発展 都市機能の再編として、近畿大学病院や大阪健康福祉短期大学の 신설といったことを具体的に記述できないか。
○ II 章 泉北ニュータウンの現況	
2. 泉北ニュータウンの魅力	
6	●広域的な機能を持ち、近接する都市からも求心力を感じられる 泉北ニュータウンの魅力として、以前から立地している教育機関についても記述して欲しい。
3. 泉北ニュータウンの課題	
7	●子育て世代、高齢者世代などライフステージに対応した生活サービスが求められている 近畿大学だけでなく、既設教育機関や大阪健康福祉短期大学についても記述すべきではないか。
8	●新たな都市機能の導入に利用可能な土地が限定されている 公的賃貸住宅の再編に伴う活用を生み出すために、公的賃貸住宅の一体管理運営や既存ストックの有効活用が求められることを記述すべきではないか。
9	南海電気鉄道沿線から、泉北ニュータウンの各駅まで運賃が高額であり、泉北ニュータウンの課題に「高額な鉄道料金」を記載してほしい。運賃値下げには、南海電気鉄道が泉北高速鉄道を買収することが必要。
10	泉北高速鉄道の区間急行や特急列車の運行により、三国ヶ丘駅や中百舌鳥駅での乗り継ぎが悪いため、泉北ニュータウンの課題に「乗り継ぎの悪い鉄道」を記載してほしい。
11	泉北高速鉄道と南海バスの連携ができておらず、不便である。泉北ニュータウンの発展には改善することが必要であり、泉北ニュータウンの課題に「乗り継ぎの悪いバス」を記載してほしい。
12	以下の課題について、南海電鉄に取組んでいただきたい。 ①泉北高速鉄道の吸収合併による運賃値下げおよび路線バスとの連絡の向上。 ②乗客の少ない特急列車「泉北ライナー」の廃止。 ③中百舌鳥－和泉中央の折り返し運転を廃止し、中百舌鳥－難波間の増発。 ④区間急行を廃止し、準急行一本化。 ⑤中百舌鳥駅での地下鉄との連絡通路の利便性向上。

SENBOKU New Design(案)についてのご意見の要旨

5. 今後の社会的動向について	
13	高齢化、医療システム（大きな病院からの退院後の地域医療・看護・介護）、健康生活など、在宅医療・看護・介護を可能にする訪問医療看護介護の地域包括システムの確立といった、「地域健康医療福祉拠点化」、といったことを記述して欲しい。
○Ⅲ章 基本的な考え方	
1. 理念	
14	理念の説明に、豊富な教育機関のストックを活かすことや、緑豊かな緑住学園都市、「いのち輝くスマートシティ・未来社会」、「地域健康医療福祉の拠点」といった内容を盛り込んでどうか。
○Ⅳ章 取組方針	
分野 1 住まい	
15	泉北ニュータウンの活性化には、空き家の解消が必要である。空き家解消に向け、活発な土地取引が必要であり、そのためには地籍調査を進めるべき。地積調査には国等の補助が活用でき、街の基盤となる土地を見直すことで、多くの事業も計画できるようになるため、調査を進めていただきたい。
分野 3 子育て・教育	
16	10 年後のビジョンに記載のある「『学園都市』としての泉北ニュータウンのイメージが芽生えている」について、世間ではそのイメージを持たれていないので、まさにブランディングをしていくべき。取組方針にある「多様な教育機関が集積する『学園都市』としてのイメージの構築」の趣旨を、ぜひ前段でも記述して欲しい。取組例の「駅前地域に学生が集える機能を創出する。」はとても良い。泉北高速鉄道の通称も「泉北緑住学園都市線」などの変更してもらうこともイメージアップになるのではないか。近鉄の学園前は、いいイメージでとらえられている一方、泉北には帝塚山学院やプール学院（桃山学院教育大学）などがあるのに学園都市のイメージが定着していない。
分野 4 健康長寿	
17	キーワードとして「地域健康医療福祉の拠点化」などを記述すれば分かりやすくなるのではないか。
18	健康長寿を目指すのは構わないが、病気を抱え、重い障害があっても、この泉北ニュータウンで生き生きと暮らしていけることを、まずはクリアしないとイケないのではないか。健康長寿を目指し、病気になったら「蚊帳の外」ではないことが分かるようにして頂きたい。
19	泉北ニュータウンでは高齢化が進行し、健康で安心して暮らせる取組が必要である。泉北ニュータウンだけでなく、全国には様々な健康長寿の取組が進められており、それらの取組を研究し、泉北ニュータウンの取組の参考にすべきである。先行型事例の ZEH は用語解説にも記載があり、まとめてどうか。
分野 7 交通	
20	泉北ニュータウン内の移動はバス中心で、各地区からの相互の移動は限定的である。そこで、環濠都市堺らしく、循環型水路を建造し、小型ボートによる移動を提案する。動力源となる水流を生み出す揚水ポンプを太陽光発電すれば、二酸化炭素排出ゼロの移動手段となる。
21	若い方々が住みたい、働きたい、学びたい、ということを目指すという中、キックボードの絵が気になる。ダメとは思わないが、杖や白杖を利用されている方、見た目はわからなくても聴覚障害がある方、知的や発達に障害があり、思わぬ行動をしてしまう方、ヨチヨチ歩きの幼児などに対する安全策をどう考えているのか。

SENBOKU New Design(案)についてのご意見の要旨

分野 10 スマートシティ	
22	<p>まちづくりのスマートシティ化はよいチャレンジではあるが、前例がないことを官主導で進めるにはスピード感が課題になると思う。スマートシティのリーディングカンパニーに外部コンサルタントを入れ、官民協働の仕組みを取り入れたほうがよい。</p> <p>持続可能なプロトタイプを作成するために、積極投資の姿勢を示し、重要プロジェクトとして SNS を多用した PR を行い、認知度を高めてはどうか。</p>
分野 11 プロモーション	
23	<p>泉北ニュータウンのイメージは、堺市や泉北ニュータウンに何らかの形でかかわっている人達以外には、「高齢化の進んだオールドタウン」「大阪中心部から遠くて不便」「学力も低い」といった、負のイメージしか持たれていない。このため、世間に分かりやすくするための積極的にブランディングする必要がある。</p>
24	<p>結婚や転勤を機に新たな住まいとして、緑が多く子育て環境が良いことを理由として、北摂や兵庫県南東部を選ぶ人が多い。泉北ニュータウンの歩車分離された空間などは、北摂に対してはるかに優れた利点であり、子育て環境としても負けていない。しかしながら、そのような情報は若者に届いておらず、若者を呼び込むための大都市での広告、子育てや住まい探し雑誌でのアピールなどが不足しているのではないかと。</p>
○V章 10 年後の泉北ニュータウン（イメージ）	
2. まちの姿と暮らす人の姿（イメージ）	
25	<p>イラストイメージは、誰にでも分かりやすく描かれており、住民にも分かりやすいものとなっている。泉ヶ丘駅は泉北ニュータウンの玄関であるので、訪れてくる人たちが、駅前からの景色や雰囲気から、このまちの良さを想像できるような駅前になって欲しい。</p> <p>そのため、駅前のビルには、サテライトキャンパス、オフィス、少しインテリジェントなカフェや図書館、そして緑豊かな印象を表現し、学園都市を感じられるような整備をめざすべくとともに、周辺の緑とビッグバンのタワーがシンボルタワーとなるように、バリアフリーでのビッグアイへのアプローチを考慮しつつ、駅前のデッキをなくすこと等が考えられる。</p>
○全体について	
26	<p>泉北ニュータウンは農業地域や自然林が豊富な南部丘陵に恵まれているとの認識を持ちながら、それらの地域の現状把握、今後の発展計画が考えられていないことが残念である。泉北地区の今後の発展のためには、子育て世代・老後を送る世代が住んでみたいと思う「素晴らしい田舎」創りが必要ではないかと考える。ニュータウン内に留まらず、里地・里山を保全し、農耕地を守り優良な食材の供給基地として、また、地域の住民のみならず、他の地域からも遊びに来たくなる「素晴らしい田舎づくり」を目指し、緑多い南部丘陵を含んだランドデザインをご検討いただきたい。</p> <p>例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南部丘陵の自然林を保全（例えば市有地化）し、子供の育成に役立つハイキング、キャンプ地、自然観察地などに使う。市は施設を作らず、環境を保全し、増加する高齢者の健康維持・社会性維持のため、ニュータウンの高齢者のボランティアにより、自然豊かな遊び場、農地を作る。 ・ニュータウンと里地・里山を結ぶ道路を整備し、安全な歩道、サイクリング道路で結ぶことにより自然を楽しむようにする。また、生活のための移動には、電気自動車（バス）を巡回させる。 ・ニュータウン内のみではなく、南部の丘陵地帯、農業地帯を一体とした道路計画を行い、単なる通過のみの車を排除する。

SENBOKU New Design(案)についてのご意見の要旨

27	<p>再生ではなく、「New Design」という表現になり、明るく前向きな印象である。アンケートなどを通じ、とても丁寧に現状把握と考察をされ、既存を否定するのではなく、うまく調和を図り、進化させていく方向性が素敵だと思った。</p> <p>泉北ニュータウンでは、すでに住民や団体、企業発の動きが芽吹き、魅力を向上させているので、この自発的な動きがより一層活性化し、次の 50 年にむけた進化のためにも、これからも行政によるビジョンの提示、サポート（共に取り組む）を続けていただけることを期待する。泉北ニュータウンの今後がとても楽しみである。</p>
28	<p>SENBOKU New Design は概念的な説明が多いので、目指すべき方向がよくわからない。プロポーザル方式で具体的な面白いアイデアを収集した方がよいと思う。そして、プロジェクトを統括する建築家やまちづくりデザイナーの選定をして、各近隣住区共通の統一感をもたせながら、それぞれの特徴を引き出した差別化を図ることが必要ではないか。</p> <p>近隣住区によって形成されたニュータウンまちづくりの考え方を次世代の住区へと変革させる大きなコンセプトが必要。計画案の各事象でやりたい事をただ羅列しているように思うので、ダイバーシティをうたうことでバラバラになり、中途半端に終わらないようなシステムが必要だと思う。全国にあるニュータウンも再生の動きがあるので、情報共有をしながら、堺の特色を全面に打ち出す指針が必要である。</p>
○その他	
29	<p>自治会の担い手が高齢化しており、これからは若い方々が住んでいる地域の中で、指定避難所である学校と共に防災を担ってほしいと思う。多くの障害者児と家族、高齢者は避難生活をしにくいいため、避難所に避難できない。そのため地域に住む障害者、高齢者等（要配慮者）との交流が重要になってくる。災害時、坂ばかりの泉北ニュータウンで安全に安心して避難生活ができる対策も組み込んでいただきたい。</p>
30	<p>泉北ニュータウンは緑豊かな素晴らしい環境だと思う反面、空き店舗の増加等により不便になってきている。以前の活気ある街に向け、無料のドッグランを整備することを提案する。公園内に柵を設置するだけで費用も安く、最近の飼い主のマナーも向上しており、管理面も大丈夫と考える。ドッグランは市内では「海とのふれあい広場」しかなく、実現できれば、泉北ニュータウンを選ぶ大きなポイントになると思うため、是非検討していただきたい。</p>